

5. 御前崎市家庭医療センター
しろわクリニック

御前崎市家庭医療センターしろわクリニック

総 括

所長 吉野 弘

平成 29 年 11 月に開院した“御前崎市家庭医療センターしろわクリニック”も 7 年目を迎え、10 名で始めた運営も現在では、医師 7 名、看護師 4 名、看護助手 1 名、理学療法士 4 名、作業療法士 1 名、臨床検査技師 1 名、事務 4 名、合計 22 名の体制で、地域のかかりつけ医療機関として地域医療に邁進しております。

診療では、令和 6 年 3 月よりクリニック指導医師を病院に派遣するとともに、クリニック専攻医師の病院研修を継続的に実施することにより、病院の初診・総合外来の充実を図っています。訪問診療は、サービス開始後 5 年が経過し、地域の皆様からのご要望の声が目に見え高くなっており、訪問診療のさらなる期待の高まりを感じています。

医学生の教育では、浜松医科大学の医学生実習受け入れが 4 年を経過し、地域住民の理解・協力も深まる中で、充実した教育を行うことができるようになりました。また、近隣病院の初期研修医の受け入れも年々増加しており、安定した診療体制・教育体制の充実を図りながら、地域の期待のみならず、静岡県内の地域医療に貢献してまいります。

このような事業を行うなかで、一つの成果として、当クリニックで実習を行った学生が、医師としてしろわクリニックで研修を開始することになりました。医学生の実習や初期研修医の研修を受け入れることによって、専攻医の増加につながるなど、家庭医療の機運の高まりを実感しております。

今後も、静岡家庭医養成プログラムと協働しながら、家庭医療の発展に粉骨砕身していく所存です。

家庭医療センター科

看護師長兼家庭医療センター科長 松下 知子

部署目標

1. 地域の人々がその人らしく生活できるよう予防を含めた医療の提供
2. 家庭医養成施設としての役割を果たす
3. クリニックの経営状態の改善

評価

1. 予防医療に関する取り組みは、予防接種（小児・コロナ・インフルエンザ・肺炎球菌・带状疱疹など）や健康診断（特定検診・企業検診・雇い入れ検診・一般健診）の推奨に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、しろわかフェを対面で3回開催することができ、多くの地域住民の参加があった。

在宅医療に関しては、訪問リハビリに作業療法士が1名増員されたことで、リハビリの幅が広がり利用者数も増加した。在宅療養のニーズの高まりは続いており、訪問診療においては介入相談件数が年間75件、新規訪問診療患者は62名であり、タイムリーな受け入れを目標に調整を行った。在宅看取り件数は昨年度より減少し39名であった。患者・家族が望む最期を送るために総合病院や療養施設との連携を図り、バックアップ体制を整えることにも力をいれた。

2. 家庭医養成施設としての取り組みは、浜松医大医学生の実習施設として選択ポリクリ5名・必須ポリクリ23名の学生受け入れ、初期研修は中東遠総合医療センター等の3名の医師を受け入れ、外来・訪問診療・訪問系介護サービスの実習をした。
3. 経営状態の改善については、新型コロナウイルス感染が5類に移行され、感染対策を緩和し外来診療・訪問を行った。感染症疑いの患者は減少している反面、心療内科・再診患者が増加し、1日外来患者目標数（94人）を達成し99.4人。クリニック全体の収益は前年度比106%（+11,781,133円）となった。

令和5年度 しろわクリニック 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
外来診療 患者数	88.5	95.5	84.3	97.0	99.7	100	106	109.1	107.3	102.8	104.5	98.7	99.4
訪問診療 件数	86	104	111	98	116	94	104	103	108	96	112	96	102.3
訪問診療 新規利用数	4	8	7	3	5	5	6	5	7	3	4	5	5
訪問リハビ リ利用回数	338	368	391	351	384	435	473	441	376	310	298	340	375